

台風の過ぎるごとに秋の気配は深まっていくようです。
気候の不安定な日が続きますが、体調管理にお気をつけください。

デイサービス八重桜本店

【敬老会】



届けていきたい、職員一同そつ強く誓った日になりました。

【八工たたきゲーム】

本店でも大人気のレクリエーション。紙面上でも何度か紹介してきましたが、今回は少し趣向を変えて叩く対象に職員も追加しました。八工のお面をつけた職員を叩いたらボーナスというルールです。ところが、一人目の挑戦者でトラブル発生。八工叩き棒に取り付けていた粘着シートが取れてしまふハプニングです。急いで補強をしましたが、普段より難易度が上がってしまった状況に皆さま四苦八苦。それでも、周りご利用者さまからの応援やアドバイザーが飛ぶなど、皆さまが一丸となって取り組む姿がそこにはありました。職員の八工はボーナスゲームとして、一人一回ずつパチンと叩いてもらうことに。一丸となったフロアでは、もっと強くーそれいけー。と活気のいい声が響いていました。また次回も、協力し合うご利用者さまの姿を見たいと思います。



本日は敬老の日。八重桜でも日頃の皆さまへの感謝を込めて敬老会を執り行いました。プログラムの最初は、本店が誇る名物夫婦によるコントです。登場したおじいさんの足取りのヨボヨボさと髭の濃さに、早速ツツクミと笑いが巻き起こっていました。ご利用者さまの席を回りながら進む余興にフロアの熱気も徐々に上がっていき、最後は恒例のハリセンです。ばちっ！と響くいい音に爆笑が起きて余興は大成功でした。余興の後は、今年祝いに当たっているご利用者さまへ色紙のプレゼントです。卒寿の方、米寿の方と順番にお渡しして記念撮影です。はいチース！の掛け声に合わせて皆さまいい笑顔を見せていただきました。これからもご利用者さまに笑顔をお

通いの場

西 勝康

奈良市の人口統計によると令和二年で高齢者人口が十七万人に なっていて、高齢者の単身世帯が二百世帯に及んでいます。高齢化は一層進んでおり、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加するなど高齢社会への対応は大きな課題になっていきます。

高齢者が住み慣れた地域の中で健康でいきいきとした暮らしができるように自由に集まり、交流することができる場所を創るために奈良市においても「通いの場」づくりが推奨されています。現在市内十三か所で「サロン」「カフェ」「集いの場」...

「カフェ」「集いの場」... いろいろな呼称がありますが、その目的は「つながり」「見守り」「支え合い」が大きく広がることを目的に運営され

桜の広場

私たちは八重桜でもコロナ禍になるまでは「ゆるとも倶楽部」という名称でランチ会を催していました。コロナ禍が一定の収まりを見せたら再開も検討しようと考えていた矢先に、法蓮町の本店の向いにテナントの空室ができたので、そちらをお借りして、いわゆる高齢者サロンを新たに設立しようと思っ



デイサービス八重桜 朱雀

【ついでお手玉】



九月になっても残暑があり、まだまだ汗ばみま
すね。さて、八重桜朱雀館の八月後半のレクリエー
ション企画を紹介いたします。その名も「ついでお手玉」
です。このゲームでは積んだお手玉の真ん中に棒
を立て、二人で交互にお手玉を取って、棒が倒れた
ら負けです。何十個と積まれたお手玉を、一人何個
取っても良いのですが、内心ハラハラドキドキです。
少し意地悪してお手玉を多めに取っていかれる
方も…しかしそれがダメだったのか相手の番にな
る前に既に倒れかけていました。周りの観客も「傾
張れ！あー倒れるー！」などと大盛り上がりでした。
スタッフ同士の対決もあり、これは双方真剣な表情でした。集中力を沢山使ひ、皆
さまの元気な笑い声で包まれた一日となりました。

【敬老の工作】

まだまだ厳しい残暑が残っていますが、外ではツクツクボウシが鳴きはじめ、季
節も秋へ入る準備をしているようです。秋と言えば食欲の秋、運動会や敬老会と
様々な行事がありますね。八重桜朱雀館では今年も敬老の日に因んだ工作をさせ
ていただきました。敬老の日といえば思い浮か
ぶのは「鶴と亀」ですね。

一枚の大きな色画用紙に職員お手製の鶴と亀
のイラストを貼らせていただき、周りには真っ赤
で綺麗な花をご利用者さまと一緒に貼りました。
真ん中には大きく描かれた「寿」の文字が。職員
とご利用者さまと協力して作ったので完成作
品を見て思わず拍手喝采となりました。当日の
朱雀館敬老会ではこのような出し物があるので
しでしょうか。皆さまもぜひワクワクしますね。敬
老会当日には、日頃の感謝の気持ちを込めて職員
精一杯お祝いをさせていただきますね。



デイサービス八重桜 押熊

【壁紙の工作】



今日の工作では、秋の壁紙を皆さままで製作しました。
一本の大きな木には紅や黄色、橙色の葉っぱを飾
りつけ、リスやキノコも飾りました。皆さま黙々と
作業をされていますが、葉っぱを付ける合間にふと
「もう少し黄色の葉っぱも欲しいなあ」などの感想
も聞かれます。
このような作業を数日間に分けておこない、つい
に秋色いっぱい壁紙が完成しました。
「たくさん貼って、疲れたなあ。」
「きれいな木が出来上がったね。」
「もう直ぐ、そこまで秋が来ているんだね。」
などと口々に感想を交えながら、嬉しそうにお話さ
れていました。

【敬老の日】

敬老の日は、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」こ
とを目的として、昭和二十三年に祝日として制定されました。当初は、九月十五
日に定められていましたが、ハッピーマンデー制度の導入により、現在のように
九月の第三月曜日となったのです。

押熊館の敬老の日のお昼ご飯は、お楽しみ弁当です。ハンバーグ弁当と中華弁当
を用意させていただきました。ご利用者さまは、久しぶりのお弁当に舌鼓。しっ
かりした味付けのお弁当をほとんどの方が完食されていました。

最期に、敬老の日のお祝い手形を渡し
ました。米寿のお祝い、卒寿のお祝い、
最高齢は百寿のお祝いでした。皆さまか
らの祝福に、泣いて喜んでくださる方も
いらっしゃいました。

その後のおやつは、お汁粉です。ご利用
者さまは久しぶりのお汁粉に「美味し
いな」と笑顔を見せてくださいました。



デイサービス八重桜 平城

【ゴム体操】



今日は、輪ゴムをすつと太く大きくしたようなゴムの輪を使った体操です。身体がゴムの様に柔らかくなり、身体を動かしているうちに、頭もすっきりして、ハツラツとした気分になります。スタッフの合図で、ゴムを前後左右に引っ張ったり、片足すつ爪先やかかどに引っ掛けて両手で上下に伸縮する運動で、まず身体を慣らします。次に、ゴムをかかどに引っ掛け、足を伸ばしたまま十秒間静止した後は、手で掴んでいるゴムの輪の下側を肘に引っ掛けて、エイエイオーの掛け声で手を上に伸ばすとゴムも伸びていきます。ゴムが元に戻ろうとするのをそのまますま伸ばした状態に保つには力が必要ですし、元に戻らせるにしても、ゴムの弾力と調子を合わせなければならず、腕や足腰の筋力の維持に効果的です。丁度、向かい風に逆行する力、坂道を降りる時の歩調に似ていますね。

【敬老の日】

今年の「敬老の日」も、スタッフのご利用者さまへの尊敬、皆さまからのスタッフへの信頼を分かち合えるイベントになりました。スタッフが奏でるピアノの伴奏に合わせて、全員で「ふるさと」「高原列車は行く」を合唱しました。ご利用者さまの心の中には、故郷の光景や思い出が甦りてくるようでした。一緒に歌を唄うことで、年齢を越えた「共感」を感じ取る雰囲気生まれました。スタッフから皆さまお一人一人にお渡ししたハンドタオルには、「いつまでもお元気で」「健康、長寿」と記され、その図柄には、スタッフと皆さまの絆を表しているかの様に、両端に施された帯状の柄模様が一本の紐で結び付けられています。締めへんに歌った「世界の国からこんにちは」では、知らず知らずのうちにお互いに握手されている方々の笑顔が印象的でした。



デイサービス八重桜 西奈良

【おじゃみけり】



若い方は、「おじゃみ」と聞くと分らない方もおられるのではないのでしょうか。「全国方言辞典」によると各地方言で、数十種類以上の言い方があるそうです。一般的に知られているのが「お手玉」で次に「おじゃみ」ではないかと思われます。人生経験も豊富なご利用者さまは皆さま「おじゃみ」を通じていろいろしゃいました。

日常生活の中で足を使う機会が減り、中には歩くのを少しでも減らすとトイレを我慢されたりする人もおられるので、頑張って足を使うゲームに取り組んでいただきました。ルールは単純です。懸命頑張っておられました。

【ちやぶ台返しゲーム】

西奈良館で行った新レクリエーションが「ちやぶ台返しゲーム」です。日頃の鬱憤を晴らしてもらおうというテーマで行いました。どんなルールなのか職員が実演するのですが、アドリブでの寸劇に皆さまは大爆笑。職員の演技力が輝いていました。肝心のルールはご想像通り、何かを叫びながらちやぶ台をひっくり返してもらおうというものです。そして、そのひっくり返したちやぶ台に乗っていた品々がどの得点ボードの上に飛んで行ったのかによって、その得点を競ってもらおうというものです。「私はこんな経験ないなあ」とほとんどの方が話されていますが、思いっきりちやぶ台をひっくり返すという声も多く、レギュラー化しそうな予感を感じさせる出来となりました。



安心

新井 貴彦



僕は夜勤専従で、八重桜押熊館をメインに勤務しています。入社した当初は自分に勤ま

るのか不安でいっぱいでしたが、今日に至るまで続けてこられたのは上司や同僚の支えがあつたからだと思います。

さまざまな対応の仕方や技術を教えてもらったが、「あの時ああしとけば」と感じ学んでいます。ご利用者さまが毎日の生活を、少しの不安や不満もなく安心して過ごしていただけるように、介護士として日々努力していきたいと思ひます。

僕には今年五才の息子がいます。土日は、家に着くと「おかえり」と走りよつてきてくれます。平日は夜勤なので逆に「ただいま」と僕が寝ているところに飛び込んできます。いつもニコニコしている息子は、毎日を安心して過ごしているのがよくわかります。

八重桜では、ご利用者さまが笑顔で安心して休んでいただけるよう勤めていきたいと思ひます。

俳句教室発表句

(敬称を略します)

サンマ焼き 野良猫達に おすそわけ

ほっこりしますね。

明星 明子

敬老の 祝いもろても

複雑だ

溝口 ナミ子

まだまだお若い!!

コスモスが ダンスしている

楽しそう

政 後 三美子

ゆれているのがダンスしているように見えますね。

黄金色 一人ぼっちの

かかしかな

大城 聖三

これから稲刈りの季節ですね。

風わたる すすぎげんやに

光る月

森 岡 榮子

まん丸できれいなお月様を見るのが楽しみです。

彼岸花 今が季ぞと

咲き競い

川井 弘子

赤いじゅうたんが目につかびますね。

コスモスの 香る迷路や

大珠堂

大瀧 欣子

芳しい迷路行ってみたいですね。

けいろうの 今年もきたよ

わかくなる

若山 樟吉

皆さまお年をとられる度にお元氣になられていますね。また来年もお祝いできるようにこの一年も無病息災を願います。

こころの遊歩道

孝行は親が生きてるうちにしたんじや遅い。親が元氣なうちにするのが孝行

さだ まさし

八重の家通信 25

感謝祭・敬老の日

九月十九日「感謝祭・敬老の日」のイベントを開催させていただきました。「敬老の日」とは祝日法では「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し長寿を祝う日」となっています。ですが、老人という言葉には少し抵抗を感じます。最近の高齢者の方はとてもお元氣で若々しい方が多く、実年齢よりも十歳ほどお若く見える方が多い印象です。

さて、イベントとしては皆さまに喜んでいただけるように職員一同、おいしいお食事や一つひとつ手作りしたメッセージ入りの紅白飾り等の準備を進めてまいりました。当日は、皆さまとお祝いの乾杯が出来、皆さまも笑顔に溢れ、とても素敵な表情をされていました。とっても嬉しかったです。また、大物ゲスト「西原裕次郎さん」も急遽お祝いに駆けつけてくださり、ポルテージも最高潮になりました。お茶菓子は「めでたい」にちなんでタイ焼きを皆さままで頂きました。そして、懐かしい曲「泳げタイ焼きくん」をなぜか皆さまと熱唱：最後は職員一人ひとりがマジックを披露しました。皆さま、いかかでしたでしょうか？

馳せ走る 食の匠のひとりごと

桜寿し開店

西勝康

桜寿しが始まりました。

九月五日の月曜日からデイサービス八重桜のご利用者さまをお迎えしてオープンしました。喫食能力(咬合力、嚥下力)を確かめた上で、安全性にも気を配りました。メニューはイクラ、ピンチヨウマダ

口、海老、穴子、貝柱、サーモン、鰻、メダカ、玉子の九貫です。

皆さま本格的な寿司屋で食べるのは久しぶりだったので、大変喜んでいただきました。これから隔週で召し上がっていただけるように計画しています。

